

日本学術会議看護学分科会・日本看護系学会協議会主催  
大学院教育から考える高度実践看護師教育のあり方意見交換会

看護職だけでなく医療サービスに関わる専門職の教育は高度化しており、その専門性を十分発揮することによってチーム医療を実現し、国民の健康問題に効果的にかつ効率よく取り組むことが求められています。特に看護学教育の高度化は急速に進み、裁量権を拡大してその専門性を発展させる時代が来ています。安心安全の医療を国民に提供するために、裁量権の拡大によりスキルミックスをすすめ、医療の質向上を推進できる人材育成を保証するカリキュラムや資格認証制度について十分な討議が必要です。将来を見据えた意見交換会を行いたいと思います。

【主催】日本学術会議看護学分科会、日本看護系学会協議会

【開催日時】2013年 3月30日（土曜日）

11:00-12:30

【場所】大阪市東淀川区東中島 1-18-22 丸ビル別館 5-2号室

【次第】

11:00 趣旨説明 日本学術会議看護学分科会看護学分科会委員長 太田喜久子

11:10 意見交換会

〈話題提供〉

①我が国における APN を目指した教育実践事例

北海道医療大学護福祉学部 看護福祉学部研究科科长 野川道子先生

北海道医療大学護福祉学部 看護福祉学部研究科教授 塚本容子先生

②APN 大学院教育での病態、薬理、フィジカルアセスメント科目の導入における課題

東京医科歯科大学大学院保健衛生学研究科先端侵襲緩和ケア看護学

看護卒後教育による mid-level provider 育成と医療提供イノベーション事業

主任研究者 井上智子先生（連携会員）

③APN 大学院教育のコアと実践を保証する教育とは

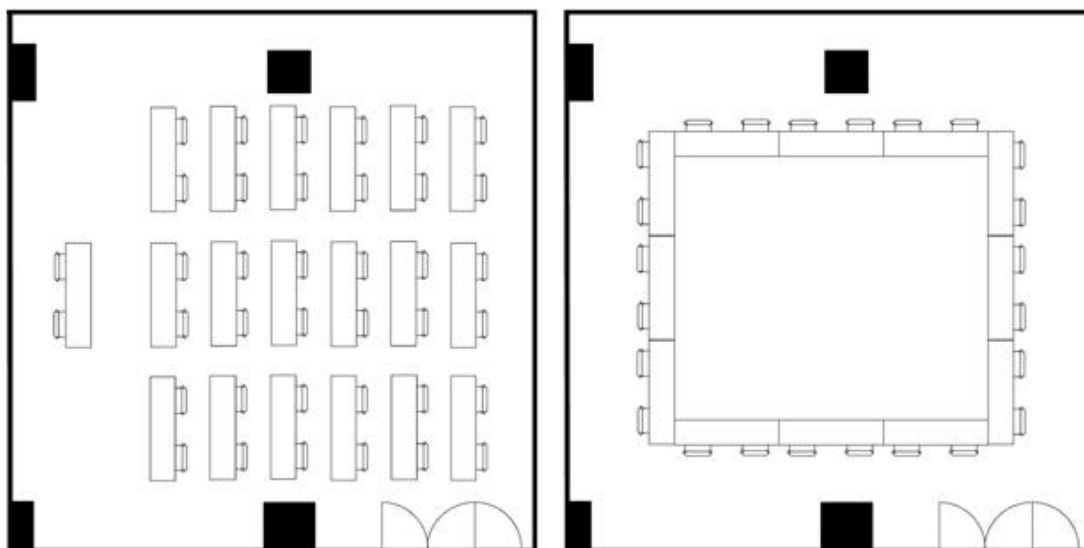
亀田保健医療大学 教授 クローズ幸子先生

④がん看護学領域の高度実践を保証する大学院教育とは

日本学術会議看護学分科会 内布敦子（連携会員）

以上

D タイプ	スクール形式	ロの字形式
	2名掛 36名	2名掛 24名



スクリーン、プロジェクター用意済み

【準備するもの】

お茶ペットボトルミドルサイズ（ホット）50本

弁当：講師4名、JANA理事分15人あわせて19個？

【会計】

会場費 45100円

資料代 5000円×4名=20000円

お茶ペットボトルミドルサイズ（ホット）50本 150円×50=7500円

弁当：講師4名、JANA理事分15人 1200円×19=22800円

---

合計 95400円